

足立区総合交通計画推進会議名簿

	区分	団体名
1	学識経験者(会長)	東京理科大学教授
2	行政機関	国土交通省関東運輸局東京運輸支局
3		東京都都市整備局都市基盤部
4	鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社
5		首都圏新都市鉄道株式会社
6		東京地下鉄株式会社
7		東武鉄道株式会社
8		京成電鉄株式会社
9		東京都交通局電車部
10	バス事業者	東京都交通局自動車部
11		国際興業株式会社
12		東武バスセントラル株式会社
13		京成バス株式会社
14		日立自動車交通株式会社
15		朝日自動車株式会社
16		株式会社新日本観光自動車
17	タクシー事業者	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会
18	警察等交通管理者	警視庁 交通部
19		警視庁千住警察署
20		警視庁西新井警察署
21		警視庁竹の塚警察署
22		警視庁綾瀬警察署
23	道路管理者	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所
24		東京都建設局第六建設事務所
25	区議会議員	足立区議会議員
26		足立区議会議員
27		足立区議会議員
28		足立区議会議員
29		足立区議会議員
30	住民又は利用者	足立区障害者団体連合会
31		足立区友愛クラブ連合会
32		足立区地域保健福祉推進協議会子ども支援専門部会
33		足立区まちづくり推進委員会
34	区職員	政策経営部長
35		福祉部長
36		環境部長
37		都市建設部長
38		道路整備室長

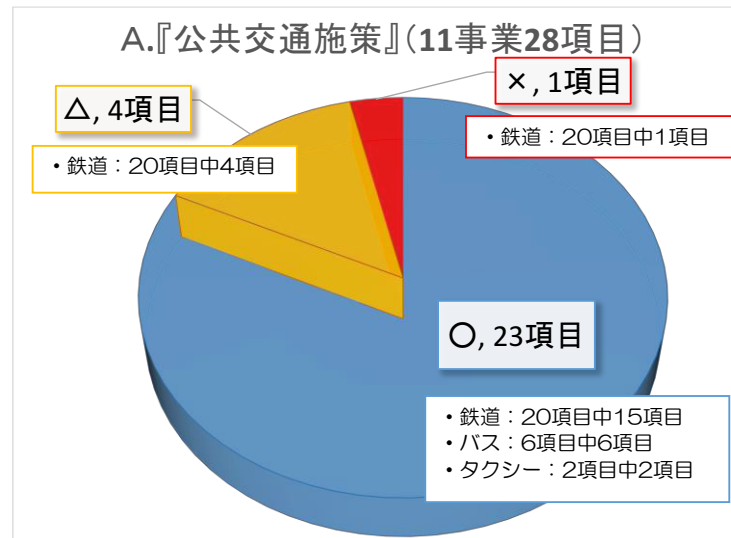
【足立区総合交通計画】令和元年度の事業指標の実施状況に関する総括表

資料 2

1 事業全体の実施状況

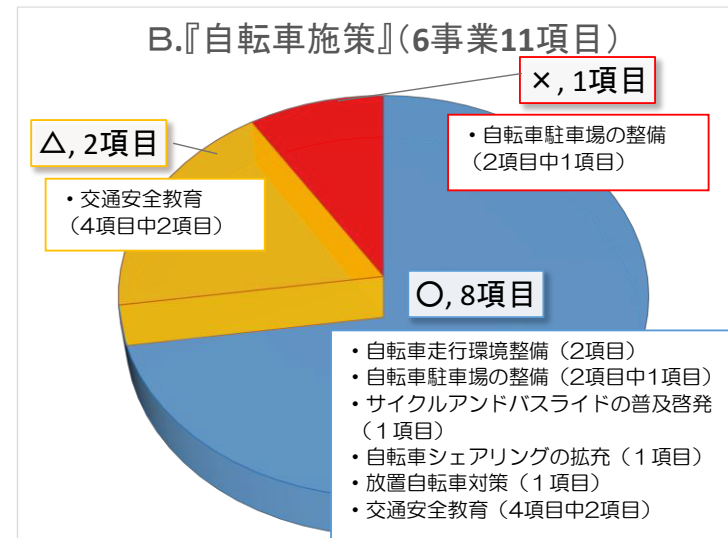
令和元年度に事業指標が位置づけられている取り組み項目の数 (全22事業50項目)	○ (達成)	△ (一部達成)	× (未実施)
	42項目	6項目	2項目

■ 施策別の実施状況は以下のとおり



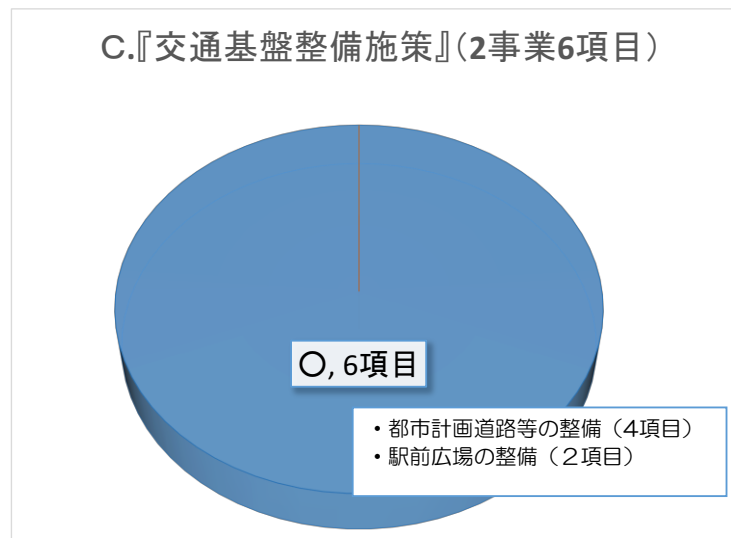
【実施結果】

- 11事業28項目のうち、「○ (達成)」は23項目で82%であった。
- 鉄道に関する項目は20項目中15項目の達成であった。
- バス、タクシーに関する8項目はすべて達成であった。



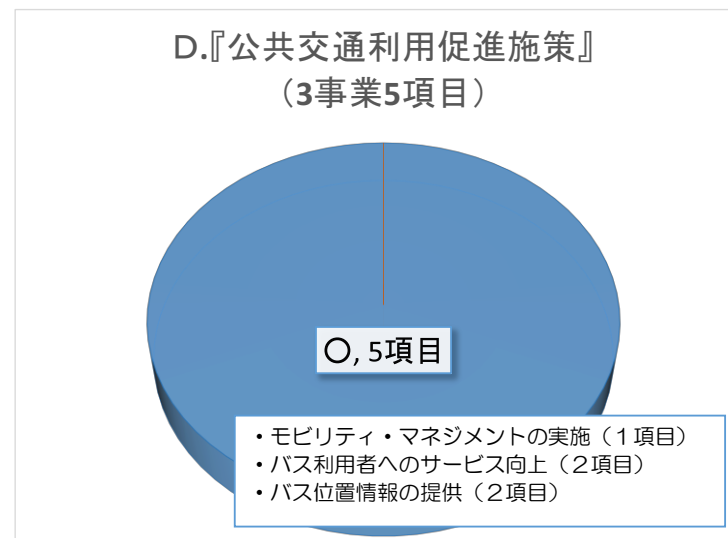
【実施結果】

- 6事業11項目のうち、「○ (達成)」は8項目で73%であった。
- 「△ (一部達成)」は交通安全教育事業の2項目であり、「× (未実施)」は自転車駐車場の整備事業の1項目であった。



【実施結果】

- 2事業6項目すべてで達成となった。



【実施結果】

- 3事業5項目すべてで達成となった。

2 達成できなかった事業の課題と今後の対応 (案)

達成状況	実施事業	課題	今後の対応 (案)
× (未実施)	A-1-③ ⑥混雑緩和対策 (つくばエクスプレス) オフピーク通勤を促進するキャンペーンについて情報発信	オフピーク通勤を促進するキャンペーンは行われなかったため、情報発信は行わなかった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実質的にオフピーク通勤が達成された。	今後、キャンペーンが行われた際には、オフピーク通勤についてHP等で情報発信を行っていく。
× (未実施)	B-② 自転車駐車場の整備 「足立区民営自転車等駐車場設置補助金」制度を活用した民営自転車駐車場の新設	「足立区民営自転車等駐車場設置補助金」制度に対する問合せはあったが活用には至らなかった。	補助対象地域の拡大などを検討していく。
△ (一部達成)	A-1-① 鉄道新線の整備促進 (メトロセブン) 実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	令和元年度に4回予定していたイベントのうち、Aフェスタは台風の接近、梅まつりは新型コロナウイルス感染拡大のため、それぞれ開催中止となった。	新型コロナウイルスの状況を見つつ、実施を検討していく。
△ (一部達成)	A-1-② ②鉄道の延伸促進 (地下鉄8号線、常磐新線) 地下鉄8号線沿線自治体と協調して取組を行うため、他自治体の促進会議で情報共有・交換を実施	「地下鉄八号線建設促進並びに誘致期成同盟会」および「関係市区町村との会議」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となった。	新型コロナウイルスの状況を見つつ、実施を検討していく。
△ (一部達成)	A-1-② ④鉄道の延伸促進 (地下鉄8号線) 実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	令和元年度に4回予定していたイベントのうち、Aフェスタは台風の接近、梅まつりは新型コロナウイルス感染拡大のため、それぞれ開催中止となった。	新型コロナウイルスの状況を見つつ、実施を検討していく。
△ (一部達成)	A-1-③ ③混雑緩和対策 (つくばエクスプレス) ボックスシートをロングシートに改修 (未実施7編成分)	未実施7編成について、令和元年度までに4編成の改修を完了。(車両の物損事故に伴い改修スケジュールを修正)	鉄道事業者と区との連携強化を図り改修を進めていく。
△ (一部達成)	B-⑥ ①交通安全教育 幼稚園・保育園で正しい道路の歩き方等を学んでもらうため、交通安全教室を実施	希望のあった場合にのみ交通安全教室等を実施したため、指標の達成には至らなかった。	さらなる周知と働きかけにより取組みを拡げていく。
△ (一部達成)	B-⑥ ④交通安全教育 大人向けに(高齢者を含む)、全住区センター(子育てサロン含む)で交通啓発活動を実施	希望のあった場合にのみ交通安全教室等を実施したため、指標の達成には至らなかった。	さらなる周知と働きかけにより取組みを拡げていく。

■足立区総合交通計画で令和元年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

資料3

実施事業		事業番号	取組内容	R1年度 (目標)	R1年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
A『公共交通施策』	1. 鉄道	A-1-①	①事業性等の調査・研究をメトロセブン促進協議会（総会・幹事会等）で実施	3回	3回	○	・事業性の調査・研究のため、メトロセブン促進協議会を3回開催。 （総会1回：令和元年7月24日開催、幹事会2回：令和元年7月9日・令和2年2月4日開催）	
			②事業性等の調査・研究を区部周辺部環状公共交通都区連絡会等で実施	2回	2回	○	・メトロセブン促進協議会、区部周辺部環状公共交通都区連絡会において、答申で示された課題解決を図るため、それぞれ調査委託を実施（令和2年3月実施）。	
			③実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	4回	2回	△	・実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を2回実施。 （桜まつり、しょうぶまつり） ・令和元年度に4回予定していたイベントのうち、Aフェスタは台風の接近、梅まつりは新型コロナウイルス感染拡大の影響によりそれぞれ開催中止。	
		A-1-②	地下鉄8号線	①沿線地域住民、議会及び行政が一丸となるため、地下鉄8号線整備促進大会を開催	1回	1回	○	・沿線地域住民、議会及び行政が一丸となり、平成10年から毎年、地下鉄8号線整備促進大会を開催しており、令和元年度は第22回目の開催。 （令和元年11月23日開催：中川小学校体育館）
				②地下鉄8号線沿線自治体と協調して取組を行うため、他自治体の促進会議で情報共有・交換を実施	3回	1回	△	・沿線自治体との情報共有・交換を図るため、促進会議等の相互参加を実施。 （地下鉄8・11号線促進連絡協議会課長会：令和元年6月4日開催） ・「地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会」および「関係市区町村との会議」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止。
				④実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	4回	2回	△	・実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を2回実施。 （桜まつり、しょうぶまつり） ・令和元年度に4回予定していたイベントのうち、Aフェスタは台風の接近、梅まつりは新型コロナウイルス感染拡大の影響によりそれぞれ開催中止。
	A-1-③	常磐新線	自治体間の連携や鉄道事業者への要請等を沿線都市連絡協議会で実施	5回	5回	○	・総会（令和元年5月20日開催）、研修会（令和元年11月14日開催）、第1回幹事会（令和元年11月14日開催）、意見交換会・勉強会（令和2年2月21日開催）、第2回幹事会（令和2年2月21日開催）の計5回実施。	
			日暮里・舎人ライナー	①全ての座席がロングシート化された新型車両を導入	2編成増備	2編成増備	○	・ロングシートの車両を2編成10両増備（令和2年3月）。
				②オフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施	実施	実施	○	・オフピーク通勤を促進するため、夏と冬の2回、時差Bizキャンペーンを実施。
	③混雑緩和対策（日暮里・舎人ライナー、つくばエクスプレス）	つくばエクスプレス	③オフピーク通勤を促進するキャンペーンの情報発信	2回以上	2回	○	・鉄道事業者が実施する夏と冬のキャンペーンに合わせて、区のホームページで情報発信を実施。	
			①新型車両を導入	5編成増備	5編成増備	○	・新型車両「TX-3000系」を5編成導入（令和2年3月）。	
			②朝ラッシュ時間帯1時間の運行本数を増便（22本から25本）	3本の増便	3本の増便	○	・北千住駅における、朝ラッシュ時間帯1時間（7時29分から8時29分）の運行本数を22本から25本に増便（令和2年3月）。	
③ボックスシートをロングシートに改修（未実施7編成分）			7編成改修	4編成改修	△	・未実施7編成について、令和元年度までに4編成の改修を完了。（車両の物損事故に伴い改修スケジュールを修正）		
④8両編成化事業を実施（現6両）			事業着手	事業着手	○	・8両編成化事業実施を決定（令和元年5月） ・8両編成化に対応するため、ホーム延伸工事を秋葉原駅、新御徒町駅で実施中。		
⑤オフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施			実施	実施	○	・朝ラッシュ時の混雑状況をHP等で提供する「混雑の見える化」を通年で実施した一方、令和元年度にオフピーク通勤を促進するキャンペーンは未実施。		
		⑥オフピーク通勤を促進するキャンペーンについて情報発信	2回以上	0回	×	・オフピーク通勤を促進するキャンペーンは行われなかったため、情報発信は行われなかった。今後、キャンペーンが行われた際には、オフピーク通勤についてHP等で情報発信を行っていく。		

■足立区総合交通計画で令和元年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

資料 3

実施事業		事業番号	取組内容	R1年度 (目標)	R1年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
A 『公共交通施策』	1 ・ 鉄道	④踏切解消 (竹ノ塚駅、北千住駅)	竹ノ塚駅 鉄道事業者と連携し、連続立体交差事業を実施	事業中	実施中	○	・高架橋工事に必要なスペースを確保するため、上り急行線の西側への仮移設を実施。 ・工事の支障となっていた埋設物(鋼矢板)の除去を令和2年2月に全て完了。	
			北千住駅 鉄道と道路の立体交差化を引き続き検討	検討	検討実施	○	・鉄道と道路の立体化に向けて、下水道幹線の移設や周辺道路への影響等の課題を抽出し、事業化にむけて手法を検討した。	
		⑤ホームドア設置等バリアフリー化	A-1-⑤	①障がい者や高齢者等を含む全ての人が安全に安心して鉄道車両に乗降できるようホームドアを設置 千代田線(北千住、綾瀬駅)	完了予定	完了	○	・千代田線北千住駅3～4番線は令和元年6月に設置完了。 ・千代田線綾瀬駅1～4番線は令和2年3月に設置完了。
	2 ・ バス	①拠点間バス路線等の維持・強化	A-2-①	①新たなバス需要が見込まれる文教大学、東京女子医大開設に合わせてバス路線の新設や再編を実施	運行ルート等の検討	検討実施	○	【文教大学関係】 ・文教大学関連では、2021年度の大学開設に合わせたバス乗り入れに向け、バス事業者と協力して、文教大学と竹ノ塚駅、文教大学と六町駅を結ぶバスルート案を検討し交通管理者協議を実施。 【東京女子医大関係】 ・東京女子医大関連では、2021年度の開院に合わせたバス乗り入れに向け、バス事業者ごとにルート案の検討を実施。バス転回場の新設に関し、バス事業者と区で施設計画案について協議を実施。
				②都市計画道路整備や新たな拠点開発などに合わせたバス路線再編等の実現のために、事業進捗に関する情報提供や路線変更の意向把握などバス事業者と連携して検討	実施	実施	○	・バスネットワークの強化に向け、新たな拠点開発の動向について情報収集を行うとともに、路線の新設や変更についてバス事業者の意向把握を実施。
		②交通不便地域のバス路線導入	A-2-②	バスの検証運行実績等を基に、本格運行を実施	運行計画の検討	検討実施	○	・交通不便地域の解消に資するバス導入に向け、まず最初に検討する地区として「花畑地区」を選定し、地域、交通事業者、行政等で構成する検討体制を構築するため、「花畑周辺地域公共交通検討準備会」を開催(令和元年12月25日)。
		③バスのバリアフリー化	A-2-③	ノンステップバスを順次導入	導入率 約80%	導入率 約92%	○	・車両の更新等に合わせノンステップバスの導入を進め、区内を運行する事業者全体での導入率は約92%。
		④バス停の利用環境整備	A-2-④	「はるかぜ」のバス停にベンチや上屋、点字ブロックを設置(駅や公共施設、病院等の施設周辺のバス停に優先的に設置※)	ベンチ:15箇所 点字:75箇所 (R1から3カ年)	ベンチ:5箇所 点字:17箇所	○	・誰もが利用しやすいバス停を整備するため、コミュニティバスはるかぜ路線について、バス事業者と協力して利用状況等から設置箇所を選定し、ベンチ5箇所、点字17箇所を新たに設置。
				「路線バス」のバス停に広告付上屋等を整備	実施	実施	○	・路線バスについて、バス事業者と協力して、広告付き上屋を1箇所を新たに設置(花畑五丁目)。
		3 ・ タクシー	①ユニバーサルデザインタクシーの導入	A-3-①	ユニバーサルデザインタクシー(スロープ付)を導入	1万台導入 (都内)	11,240台 導入	○
②配車アプリ活用等によるタクシーの利便性向上	A-3-②		配車を実現できるようスマホ配車アプリを導入	導入	導入	○	・誰もがタクシーを快適に利用できるように、タクシー事業者において配車アプリの導入を進めており、東京タクシー協会会員269社で23,189台が導入済み(令和元年度末時点)。	

■足立区総合交通計画で令和元年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

資料 3

実施事業		事業番号	取組内容	R1年度 (目標)	R1年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
B 『自転車施策』	①自転車走行環境整備	B-①	自転車専用通行帯、ナビライン、ナビマーク等の整備	綾瀬駅周辺・竹ノ塚駅周辺	13,400m	14,800m	○	・自転車走行環境の整備にあたっては、地域（町会、商店会）や交通管理者と調整、協議を行い、自転車ナビマークを14,800m整備。
			都市計画道路等	道路の整備に合わせ実施	6,600m	○	・都市計画道路の整備に合わせて、普通自転車専用通行帯を1,650m、ナビマークを4,950m整備した。	
	②自転車駐車場の整備	B-②	自転車の利用状況や民間自転車駐車場の設置状況を勘案して、区営の自転車駐車場の新設・改修		2箇所	2箇所	○	・環状七号線西新井陸橋下に西新井東自転車駐車場（585台）及び西新井西自転車駐車場（403台）を整備。
			「足立区民営自転車等駐車場設置補助金」制度を活用した民営自転車駐車場の新設		2箇所	0箇所	×	・民間事業者から補助金に関する問合せは一定数あったが、新規申請には至らなかったため、従来の補助対象地域7か所（北千住・綾瀬・北綾瀬・谷在家・西新井大師西・江北・扇大橋）に、新たに六町駅周辺も加えるなど補助金の活用促進方を検討。
	③サイクルアンドバスライドの普及啓発	B-③	サイクルアンドバスライドに関する情報を発信	手法検討	検討実施	○	・令和2年3月、神明南一丁目1番地内に新たに駐輪場を設置するとともに、地域と連携して利用啓発を実施。	
	④自転車シェアリングの拡充	B-④	シェアサイクルを導入	手法検討・実証実験	実施	○	・民間事業者と協定（令和2年1月24日）を締結し、区営自転車駐車場や区立公園等の一部のサイクルポート用地と、民間事業者のサイクルポートとの間でネットワークを形成し、シェアサイクル事業の実証実験を開始。	
⑤放置自転車対策	B-⑤	街頭指導員による駐車場への誘導や店舗への指導、放置自転車の撤去、自転車の施錠周知による盗難後の放置抑制を引き続き実施	実施	実施	○	・街頭指導員による駐車場への誘導や店舗への指導、放置自転車の撤去、交通管理者と連携し自転車の施錠周知による盗難後の放置抑制を引き続き実施。 ・放置自転車対策の一環である「自転車の無料引き取り」の実施場所を4か所追加。		
⑥交通安全教育	B-⑥	①幼稚園・保育園で正しい道路の歩き方等を学んでもらうため、交通安全教室を実施		170園	89園	△	・区内の全170園の幼稚園・保育園において、区より交通安全教室実施の募集を行い、希望のあった89園の区内保育園・幼稚園にて実施。	
		②小学校において、小学三年生を対象とし、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施		69校	69校	○	・区内小学校全69校において、小学三年生を対象とした、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施。	
		③中・高等学校でスタントマンを活用した体験型交通安全教室を実施		15校	15校	○	・区内全区立中学校11校及び都立高等学校3校でスタントマンを活用した体験型交通安全教室を実施。中学校1校は学校独自で実施。	
		④大人向けに（高齢者を含む）、全住区センター（子育てサロン含む）で交通啓発活動を実施		114回	20回	△	・区内の全住区センター（子育てサロン含む）において、区より交通安全啓発活動の協力を依頼し、希望のあった20の住区センターにおいて交通安全講話を実施。	
C 『交通基盤整備施策』	①都市計画道路等の整備	C-①	都市計画道路等の整備	補助258号（六町一丁目地内）	事業中	事業中	○	・六町加平橋取付道路の整備工事を実施。
				補助138号（関原三丁目～梅田五丁目）	事業中	事業中	○	・地権者交渉を着実に進め、補助138号線関連用地を取得完了。
				主要区画道路②（西新井栄町一丁目～二丁目）	事業中	事業中	○	・電線共同溝整備工事を実施。
				区画街路14号（西竹の塚二丁目）	事業中	事業中	○	・竹ノ塚西口駅前広場を含む区画街路第14号線の整備として、事業用地3件を取得。 ・都市基盤の整備として、区画街路第14号線の下水道工事に着手。
	②駅前広場の整備	C-②	駅前広場の整備	竹ノ塚駅西口	事業中	事業中	○	・竹ノ塚西口駅前広場を含む区画街路第14号線の整備として、事業用地3件を取得。
				竹ノ塚駅東口 西新井駅西口 北綾瀬駅	事業化検討	検討実施	○	・北綾瀬駅については、交通広場の基本設計を実施。 ・竹ノ塚駅東口について、URや東武鉄道等の関係機関と、駅東西が一体となったまちづくりの検討を実施。 ・西新井駅西口について、鉄道事業者と区で、駅舎と交通広場の接続等に関する協議を計9回実施。また、「西新井駅西口における連絡通路の昇降機整備にむけた確認書」締結に向けて、鉄道事業者と調整を行った。

■足立区総合交通計画で令和元年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

資料 3

実施事業		事業番号	取組内容	R1年度 (目標)	R1年度 (実績)		特記事項
分類	事業名				実績	達成状況	
D 『公共交通 利用促進 施策』	①モビリティ・マネジメントの実施	D-①	公共交通情報の提供等の利用促進啓発活動の実施	手法の 検討	検討実施	○	・公共交通の更なる利用促進を図るために、利用者に対し正しく交通情報を伝え、公共交通の理解を促すことを目的として、各社、自社のホームページの改修、外部の交通情報検索サイトとの連携、刊行誌の発行、SNSを使った情報発信に取り組んだ。
	②バス利用者へのサービス向上	D-②	①ICカード定期券の導入	導入 検討	検討実施	○	・利用者の利便性やサービス向上を図るため、未導入の事業者で導入検討を進め、1事業者で新たに導入済み。
			②乗継割引の導入	導入 検討	検討実施	○	・各社乗継割引の導入検討を実施。一部の事業者については、検討の結果、費用対効果の面から現在のところ導入が難しい状況である。
	③バス位置情報の提供	D-③	①インターネット上における位置情報の提供	導入 検討	検討実施	○	・利用者の利便性やサービス向上を図るため、未導入の事業者で導入検討を進め、1事業者で新たに導入済み。
			②バス停におけるバスロケーションシステムの設置 (主要駅や公共施設周辺等のバス停)	整備 箇所の 検討	検討実施	○	・バスロケーションシステムの整備箇所について、バス事業者と連携し、バス停の立地や利用状況などを踏まえ、整備箇所の検討を実施。